

公益社団法人 読書推進運動協議会

2022年度 事業報告書・決算報告書 2023年度 事業計画書・予算書

1・趣意書	P. 3
2・2022年度 事業報告書	P. 4 ～ P. 14
3・2022年度 決算報告書	P. 15 ～ P. 24
① 貸借対照表	P. 15
② 正味財産増減計算書	P. 16 ・ P. 17
③ 正味財産増減計算書内訳表	P. 18 ・ P. 19
④ 財務諸表に対する注記	P. 20 ・ P. 21
⑤ 附属明細書	P. 22
⑥ 財産目録	P. 23
⑦ 監査報告書	P. 24
4・2022年度 予算決算対比	P. 25
5・2023年度 事業計画書	P. 26 ～ P. 29
6・2023年度 収支予算書	P. 30
7・会員名簿	P. 31 ・ P. 32

公益社団法人 読書推進運動協議会 趣意書

読書推進運動協議会は、読書活動の推進と、出版物の普及により、わが国文化の発展と向上に資することを目的として、1947年（昭和22年）秋を第1回とする「読書週間」の主催団体であった読書週間実行委員会を発展的に解消して、出版界および読書界の代表的7団体により、1959年（昭和34年）11月10日任意団体として結成、発足しました。

以来、国民的行事として定着してきた、秋の「読書週間」、春の「こどもの読書週間」の2大行事を主催すると同時に、「若い人に贈る読書のすすめ」「敬老の日読書のすすめ」「野間読書推進賞」など、年間を通じて国民一般に読書と愛書の意欲を昂揚し、あわせて出版についての理解と関心を深めるために、各種の事業ならびに運動を計画し、その中核となって活発なる活動をつづけ、今日に至っています。

現在の読書推進運動協議会は、組織としては出版界ならびに読書界の代表的団体、すなわち、一般社団法人 日本書籍出版協会、一般社団法人 日本雑誌協会、一般社団法人 教科書協会、一般社団法人 日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会、公益社団法人 日本図書館協会、公益社団法人 全国学校図書館協議会の7つの団体のほか、出版および読書に関連する諸団体ならびに会員社によって構成され、強力なる支援のもとに発展をつづけています。さらに、連携組織としての各地域の読書推進運動協議会も、40の道府県に設立され、活動をしています。

このように組織体としての基盤も確立し、1969年（昭和44年）秋には文部省（現在の文部科学省）より社団法人の認可を、2013年（平成25年）4月には内閣府より公益社団法人の認定を受けました。責任ある公共団体としての覚悟を新たにして、本来の目的達成のために、いっそう強力なる活動の展開を期してまいります。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32 出版クラブビル 6階

公益社団法人 読書推進運動協議会

電話 (03) 5244-5270 FAX (03) 5244-5271

2022年度 事業報告書

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

事業 総括

読書推進運動協議会は、永年にわたる活動の公益性が高く評価され、2013年4月1日に公益社団法人へと移行しました。

2022年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の流行下にありましたが、関連諸団体および関係者各位のご協力により、例年同様、①第64回こどもの読書週間 ②2022 敬老の日読書のすすめ ③第76回読書週間 ④2023 若い人に贈る読書のすすめ ⑤第52回野間読書推進賞 ⑥機関紙『読書推進運動』の毎月発行（別冊・年2回）の各事業 ⑦「子どもの読書推進会議」の事務局担当 ⑧伊藤忠記念財団の「子ども文庫助成事業」の募集および第一次審査業務の受託 ⑨行政機関を含めた各種団体の読書推進活動に関する支援と後援を行うことができました。

2022・第64回 こどもの読書週間



期 間 4月23日から5月12日まで(20日間)
主 催 公益社団法人 読書推進運動協議会
後 援 文部科学省、日本新聞協会、NHK、日本民間放送連盟、
日本PTA全国協議会、全国市町村教育委員会連合会
標 語 ひとみキラキラ 本にドキドキ
(小学館・後藤千鶴子さん)
ポスター 絵：荒井良二さん デザイン：杉浦康平さん

- 道府県読書推進運動協議会、公共図書館、上記後援団体のほか、出版、新聞、放送の主要機関に「こどもの読書週間」開催の趣旨書とマークと協力依頼書を送付、協力を要請
- 標語の決定と、ポスターの製作・配布。B3判4色刷りポスター5万1100枚を製作し、道府県の読書推進運動協議会、全国の公共図書館、小・中・高校、書店、出版社、新聞社、放送局、文化団体などに配布、掲出を要請
- 新型コロナウイルス感染症対応のため、各地の実情に合わせて無理のない範囲での行事实施を呼びかけ
- 道府県読書推進運動協議会に、「こどもの読書週間」行事補助金、各2万円を贈呈

- ポスター配布先
- 道府県読書推進運動協議会・公共図書館 7500枚
 - 全国小・中・高校 3万枚
 - 取次各社 6030枚
 - 特定の機関 3570枚
 - 読書推進運動協議会事務局（会員社を含む） 4000枚

道府県の各読書推進運動協議会が実施した行事

新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けて減少気味だった行事主催者数は、関係者の熱意と努力で増加に転じ1741を数えた。

その行事報告は機関紙『読書推進運動』2022年10月刊・第659号別冊付録に収録

●道府県別各読書推進運動協議会報告の行事主催者数（読書推進運動協議会編）

北海道	146	青森県	20	岩手県	49	宮城県	37	秋田県	51
山形県	23	福島県	13	茨城県	36	栃木県	47	群馬県	17
埼玉県	90	千葉県	78	新潟県	34	富山県	31	石川県	29
福井県	21	山梨県	38	長野県	45	岐阜県	40	静岡県	78
滋賀県	32	京都府	27	兵庫県	79	和歌山県	22	鳥取県	27
島根県	30	岡山県	55	広島県	69	徳島県	23	香川県	27
愛媛県	36	高知県	28	福岡県	94	佐賀県	24	長崎県	46
熊本県	27	大分県	26	宮崎県	41	鹿児島県	85	沖縄県	20
									合 計 1741

2022・第76回 読書週間



期 間	10月27日から11月9日まで (文化の日を中心とした14日間)
主 催	公益社団法人 読書推進運動協議会
後 援	文部科学省
標 語	この一冊に、ありがとう (講談社・天野耕平さん)
ポスター	イラスト=たしまさとみさん デザイン=有原文絵さん(プラス・アイ)

- 道府県読書推進運動協議会、公共図書館をはじめ、出版、新聞、放送の主要機関に「読書週間」開催の趣旨書、マークならびに協力依頼書を送付、協力を依頼
- 標語の決定と、ポスターの製作・配布。B3判4色刷りポスター5万5500枚を製作し、道府県の読書推進運動協議会、全国の公共図書館、小・中・高校、書店、出版社、新聞社、放送局、文化団体などに配布、掲出を依頼
- 新型コロナウイルス感染症対応のため、各地の実情に合わせて無理のない範囲での行事实施を呼びかけ
- 日本雑誌協会の協力を得て、同協会の会員社に対し、発行の雑誌への「読書週間」告知広告掲載を依頼。積極的な取り組みを要請。18社62誌に掲載
- 道府県読書推進運動協議会から各1件の推薦により、「全国優良読書グループ表彰」を行い、35団体に賞状・副賞(2万円の図書カード)を贈呈
- 道府県読書推進運動協議会に「読書週間」行事補助金、各2万円を贈呈
- 「秋の読書推進月間」運営委員会に参加

ポスター配布先

- 道府県読書推進運動協議会、公共図書館 1万200枚
- 全国小・中・高校 3万2000枚
- 取次各社 6030枚
- 特定の機関 4000枚
- 読書推進運動協議会事務局(会員社を含む) 3270枚

道府県の各読書推進運動協議会が実施した行事

公益社団法人読書推進運動協議会の呼びかけによって、全国各地で多彩な行事が実施された。その行事報告は機関紙『読書推進運動』2023年4月刊・第665号別冊付録に収録

●道府県別各読書推進運動協議会報告の行事主催者数(読書推進運動協議会編)

北海道	177	青森県	22	岩手県	50	宮城県	37	秋田県	54
山形県	27	福島県	43	茨城県	53	栃木県	46	群馬県	31
埼玉県	67	千葉県	72	新潟県	48	富山県	36	石川県	31
福井県	30	山梨県	42	長野県	30	岐阜県	51	静岡県	85
滋賀県	38	京都府	46	兵庫県	70	和歌山県	25	鳥取県	29
島根県	29	岡山県	62	広島県	85	徳島県	24	香川県	29
愛媛県	37	高知県	31	福岡県	102	佐賀県	34	長崎県	46
熊本県	32	大分県	31	宮崎県	39	鹿児島県	100	沖縄県	27
									合 計 1948

●第 55 回 全国優良読書グループ表彰団体

グループ名	所在地	代表者名
おはなしの会ピッピ	北海道上川郡東川町	脇坂百美子
親子読書会「わっこの会」	青森県十和田市	木村明美
読書ボランティア「ききみみずきん」	岩手県九戸郡洋野町	木村美奈子
読み聞かせボランティア 「おはなしほっとけーき」	宮城県気仙沼市	小野寺明子
昭和おはなしかい	秋田県潟上市	進藤聖子
絵本とおはなしの会「フレデリック」	山形県最上郡大蔵村	長沼弘美
お話しボランティア「イクタン号 GO」	福島県本宮市	塩田月子
瓜連おはなしの会ルピナス	茨城県那珂市	加藤智子
図書館友の会 えほんひろば	栃木県矢板市	中嶋加代子
スター☆ガール	埼玉県鶴ヶ島市	新堀律子
鎌ヶ谷市子ども劇場	千葉県鎌ヶ谷市	渡邊みどり
おはなしの泉	新潟県新潟市	渡邊純子
サークル・シュガー	富山県氷見市	上野隆子
おはなしグループどんぐり	石川県金沢市	杉森富志子
甲斐市立敷島図書館ボランティア ライライの会	山梨県甲斐市	大島純子
子どもの本研究会	長野県飯田市	永井祐子
朗読ボランティア「糸でんわの会」	岐阜県下呂市	上原恵子
音読グループ「つくし」	静岡県田方郡函南町	岩城まゆみ
常盤読書グループ 松葉会	滋賀県草津市	馬場紀久子
おはなしの森	京都府相楽郡精華町	安本栄子
有田川町こども司書	和歌山県有田郡 有田川町	川村竜央
おはなしろうそくの会	鳥取県鳥取市	田中久留美
波積絵本の読み聞かせの会	島根県江津市	井田晴子
西大寺子どもライブラリークラブ	岡山県岡山市	時實達枝
東広島ストーリーテリングの会 「むかしこっぷり」	広島県東広島市	檜垣直子
おはなしの森	徳島県那賀郡那賀町	藤田示子
図書館ボランティア「おおばこ」	香川県綾歌郡綾川町	中浦愛子
えほんとわらべうた プチ・ぷちぶち	福岡県太宰府市	望月美智子
おはなしトントン	佐賀県武雄市	梅崎登代子
諫早おはなしの会	長崎県諫早市	関山恵美子
ななつの子の会	熊本県天草市	佐々木明子
DANパネ団	大分県大分市	渡辺繁治
さざんか童夢	宮崎県児湯郡川南町	落合洋子
串良小学校読み聞かせグループ こころのしずく	鹿児島県鹿屋市	富松ひろみ
糸満市図書館友の会	沖縄県糸満市	大城ひかる

第52回野間読書推進賞

●受賞者

《団体の部》 ○蒨えぎの会(群馬県)

○近江八幡おはなし研究会(滋賀県)

《個人の部》 ○渡邊満洲子さん(愛知県)

《奨励賞》 ○法崎よし子さん(大分県)

《功労賞》 ○山本清治さん(鹿児島県)

●賞 賞状および賞牌

●副賞 金30万円(団体の部)、金20万円(個人の部)、金5万円(奨励賞・功労賞)

決定までの経過と贈呈式

○2022年5月13日 都道府県教育委員会委員長および教育長、都道府県中央図書館および読書推進運動協議会のほか、全国市町村教育委員会連合会、日本PTA 全国協議会、日本新聞協会、NHK、日本民間放送連盟などに候補者推薦を依頼

○7月29日 候補者推薦締切(推薦数16 団体、3 個人)

○8月29日 野間読書推進賞事業委員会による選考準備委員会を開催。各候補者への評価、その理由などについて討議し、8 団体3 個人を選出。これについてさらに実情調査などの結果をまとめ、選考委員会に提出

○9月20日 選考委員会を開催。慎重な審査の結果、2 団体1 個人の野間読書推進賞、2 個人の野間読書推進賞奨励賞を決定。その後、奨励賞の内定者、山本清治さんが亡くなっていたことがわかり、協議をへて特例として功労賞を贈ることとした。

○11月7日 東京・千代田区の出版クラブビルにおいて贈呈式を開催(感染症対策のため人数限定。記念祝賀会はなし)

●選考委員 秋本 敏 公益社団法人 日本図書館協会 図書紹介事業委員会 委員長

黒木 義博 公益社団法人 全国学校図書館協議会 読書活動プロジェクト担当

野上 暁 児童文学・文化研究家

一般社団法人 日本国際児童図書評議会 副会長

野間読書推進賞について

この賞は、地域や職域などにおいて、永年にわたって読書の普及に力を尽くし、読書推進運動に貢献された団体または個人を顕彰するためのもので、1969年に、講談社社長・故野間省一氏より当協議会の社団法人設立を機に基本財産として金1000万円、1979年に講談社より創業70周年を記念して金1000万円、さらに1987年、2023年に各金2000万円の寄付を受け、その基金を中心に運営しているものです。なお、1985年(第15回)より「読書推進賞」から「野間読書推進賞」と名称が改められました。

2022敬老の日読書のすすめ



期 間 敬老の日を中心に

主 催 公益社団法人 読書推進運動協議会

○「敬老の日(中・高年層)にすすめる本」の推薦図書24点を掲載したリーフレットを製作し、道府県の読書推進運動協議会、全国の公共図書館、書店などに送付。読者に配布

○推薦図書は、道府県の読書推進運動協議会から3点ずつ推薦していただき、その推薦図書をもとに、事業委員会で決定

○今回は、40の読書推進運動協議会から81点の図書の推薦

○リーフレット(A4判3折・2色×2色) 製作部数14万部

リーフレット配布先 ●道府県読書推進運動協議会・公共図書館 7万4400部

●取次会社 5万4250部

●特定の機関 5450部

●読書推進運動協議会事務局(会員社を含む) 5900部

2023若い人に贈る読書のすすめ



期 間 2023年1月から3月

主 催 公益社団法人 読書推進運動協議会

○「成人・卒業—新たな一步を踏み出したフレッシュなあなたにすすめる本」の推薦図書24点掲載のリーフレットを、道府県の読書推進運動協議会、全国の公共図書館、書店などに送付。読者に配布

○推薦図書は、道府県の読書推進運動協議会から3点ずつ推薦していただき、その推薦図書をもとに、事業委員会で決定

○今回は、40の読書推進運動協議会から92点の図書の推薦

○リーフレット(A4判3折・2色×2色) 製作部数20万3000部

リーフレット配布先 ●道府県読書推進運動協議会・公共図書館 8万6800部

●取次会社 5万3250部

●特定の機関 3万3700部

●読書推進運動協議会事務局(会員社を含む) 2万9250部

機関紙の発行

- 機関紙『読書推進運動』(B5判)を月1回、年12回発行(第653号～第664号)
- 基本編成は8ページ(第661号は16ページ)
- 別冊付録を年2回(第653号・60ページ、第659号・52ページ)発行し、「読書週間」「こどもの読書週間」の全国からの行事報告を掲載

以下、各号の執筆者(①巻頭、②本文)と内容を紹介

- 第653号 = ①広松由希子さん 次の100年との境界線に立って
(「こどもの読書週間」によせて)
- ②西村恵美子さん 再開に備えて～ことばと物語と、疑問の日々～
(野間読書推進賞受賞者の活動報告)

☆〈別冊付録〉「2021・第75回 読書週間行事報告」

- 第654号 = ①宮原博昭常務理事 出会いの場としての読書
(教育メディアとしての出版)
- ②草野三保子さん 遊んで、食べて、本読んで……
いま、できる限りの体験を、子どもたちへ
(野間読書推進賞受賞者の活動報告)

- 第655号 = ①松下隆志さん 今こそロシアの文学を
(国際理解のツールとしての読書)

○第656号 = 公益社団法人 読書推進運動協議会・2022年度定時総会報告

- 第657号 = ①本多秀臣さん 60年の変化を共有する世代間のコミュニケーションツールに
(「敬老の日読書のすすめ」によせて)

- 第658号 = ①野口武悟さん 読書からだれひとり取り残さない社会の実現に向けて
(「読書週間」によせて)

- 第659号 = ①春井宏之監事 日本語を守るのは「読書」
(「読書週間」によせて)
- ②小山忠弘さん 怖いおはなしを迫力満点の声で！
おじいさんたち + a の読み聞かせ
(野間読書推進賞受賞者の活動報告)

☆〈別冊付録〉「2022・第64回 こどもの読書週間行事報告」

- 第660号 = ①宇野和美さん 世界は驚きにあふれている―「わからない」から始めよう―
(「若い人に贈る読書のすすめ」によせて)

○第661号 = 第52回 野間読書推進賞特集

- 第662号 = ①平林彰副会長 本の力で、サステナブルな「やさしい」未来を
(年頭所感)
- 第663号 = ①星野泰也理事 教科書、学習参考書を読み解く
(読書の入り口としての教科書)
- 第664号 = ①ザ・キャビンカンパニーさん 「かんがえるこども」
(「こどもの読書週間」によせて)

子どもの読書推進会議

(事務局)

代表・野間省伸。公益社団法人 読書推進運動協議会、一般社団法人 日本書籍出版協会、一般社団法人 日本雑誌協会、日本児童図書出版協会、一般社団法人 日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会、一般財団法人 出版文化産業振興財団(JPIC)、公益社団法人 日本図書館協会、公益社団法人 全国学校図書館協議会、一般社団法人 日本国際児童図書評議会(JBBY)、一般社団法人 日本児童文学者協会、一般社団法人 日本児童文芸家協会、一般社団法人 日本児童出版美術家連盟の基本13団体から運営委員を募り総会を構成。事務局を読書推進運動協議会におく。主な事業は以下のとおり。

〈主催〉

- 「上野の森 親子ブックフェスタ2022」

5月3日～5日に上野恩賜公園(東京都台東区)で3年ぶりに開催した。謝恩価格で児童書を販売する「子どもブックフェスティバル」には71の出展者が約4万冊の本を出品。レジではキャッシュレス決済のみとするなど感染症対策を徹底した。著者サイン会、おはなし会など関連イベントも多く3日間で約26000人の来場者があった。

〈後援〉

- 「絵本ワールドinふくしま」 9月24日・25日 ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)
- 「絵本ワールドinひょうご」 10月8日 須磨寺青葉殿講堂(兵庫県神戸市)
- 「絵本ワールドin京葉」
10月8日・9日 城西国際大学紀尾井町キャンパス(東京都千代田区)
11月5日・6日 同・東金キャンパス(千葉県東金市)
- 「絵本ワールドinわかやま」 11月13日 有田川町地域交流センター(ALEC)
(和歌山県有田川町)
- 「絵本ワールドinにいがた」 11月27日 朱鷺メッセ(新潟県新潟市)
- 「絵本ワールドinこまつしま」 12月24日・25日 サウンドハウスホール(徳島県小松島市)

受託事業、共催、後援および協賛事業

〈受託事業〉

本年度も、公益財団法人 伊藤忠記念財団の実施する2022年度「子ども文庫助成事業」の募集および第一次審査業務を受託しました。全国の関係機関に募集要項の配布を依頼、寄せられた申請書類を調査・整理のうえ、参考意見を付して財団へ提出。応募総数は137件、伊藤忠記念財団は最終審査の結果、78団体に助成金、23団体に100冊の本が贈呈されました。

〈共催団体、実行委員会への参加〉

- 「第55回 造本装幀コンクール」 主催：一般社団法人 日本書籍出版協会、一般社団法人 日本印刷産業連合会
審査委員として参加。読書推進運動協議会賞提供
- 「第27回 日本絵本賞」 主催：公益社団法人 全国学校図書館協議会
最終選考会に参加
- 「学校図書館整備推進会議」……運営委員会に参加
代表・設楽敬一、議長・竹下晴信。公益社団法人 読書推進運動協議会、公益社団法人 全国学校図書館協議会、日本児童図書出版協会、市民団体など28団体
- 文部科学省より委嘱を受け「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」事業審査
- 文部科学省より委嘱を受け「子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人） 文部科学大臣表彰」事前審査
- 文部科学省より委嘱を受け「読書活動推進事業」審査
- 文部科学省より「子ども読書の日」ポスター制作を受託
- 「第26回 図書館を使った調べる学習コンクール」 主催：公益財団法人 図書館振興財団
審査委員として参加

〈後援など〉

- 「2022年度 アジアの図書館サポーター」 主催：公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会
2022年1月1日～12月31日
- 「2022年度 絵本を届ける運動」 主催：公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会
2022年1月1日～12月31日
- 「春の読者還元祭2022」 主催：日本書店商業組合連合会 4月20日～5月5日
- 「上野の森 親子ブックフェスタ2022」 主催：上野の森 親子ブックフェスタ運営委員会（日本児童図書出版協会・一般財団法人 出版文化産業振興財団・子どもの読書推進会議）
開催日5月3日～5日
- 「第55回 造本装幀コンクール」 主催：一般社団法人 日本書籍出版協会、一般社団法人 日本印刷産業連合会 応募締め切り5月10日

- 「第14回 矢祭もったいない図書館 手づくり絵本コンクール」 主催：矢祭町
募集期間6月1日～9月30日
- 「第22回 家の光読書エッセイ」 主催：一般社団法人 家の光協会
募集期間7月1日～11月11日
- 「マンガ感想文コンクール2022」主催：一般社団法人 出版文化産業振興財団
実施期間7月1日～9月30日
- 「第19回 家の光読書ボランティア養成講座」主催：一般社団法人 家の光協会
実施時期7月4日～7月19日
- 「第16回 家の光読書ボランティアスキルアップ講座」主催：一般社団法人 家の光協会
実施時期7月11日～7月25日
- 「とやま元気ワールド 絵本ランド Web2022」 主催：とやま元気ワールド実行委員会
実施時期7月23日～10月31日 Web、新聞、テレビ、FM 放送
- 「第32回 全国読書作文コンクール」 主催：公益社団法人 全国学習塾協会
募集期間7月25日～8月27日
- 「第54回 日本子どもの本研究会全国大会」主催：一般社団法人 日本子どもの本研究会
開催日7月30日・31日
- 「第26回 図書館を使った調べる学習コンクール」 主催：公益財団法人 図書館振興財団
募集期間9月12日～10月3日
- 「第43回 全国学校図書館研究大会(オンライン大会)」
主催：公益社団法人 全国学校図書館協議会 期日8月3日～8月31日
- 「柳田邦男うちどく講演会」主催：黒川町家読連絡会
開催日10月2日
- 「第1回 絵本サミットin剣淵」主催：絵本図書館ネットワーク
開催日10月9日
- 「ブックインとっとり2022」主催：ブックインとっとり実行委員会
開催期間11月1日～11月6日
- 「いばらき読書フェスティバル2022」主催：茨城県立図書館、茨城県教育委員会、茨城県読書
推進運動協議会、茨城県図書館協会ほか 開催日11月6日
- 「読書週間×本の日 秋の読者還元祭2022」主催：日本書店商業組合連合会
応募期間10月27日～11月23日
- 「絵本でうちどく・まちどくミーティングin京都」主催：絵本図書館ネットワーク
開催日12月4日
- 「第4回 子どもの読書活動推進に関する代表者シンポジウム」主催：絵本図書館ネットワーク
開催日12月17日

2022年度 決算報告書

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

貸 借 対 照 表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,294,065	6,960,652	333,413
未収金	32,552	1,032,704	△ 1,000,152
前払金	338,769	318,769	20,000
貯蔵品	130,000	276,000	△ 146,000
流動資産合計	7,795,386	8,588,125	△ 792,739
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
野間読書推進賞基金	30,000,000	15,000,000	15,000,000
グループ総覧発行積立金	3,000,000	2,000,000	1,000,000
特定資産合計	33,000,000	17,000,000	16,000,000
(2) その他固定資産			
敷金	2,305,600	2,305,600	0
その他固定資産合計	2,305,600	2,305,600	0
固定資産合計	35,305,600	19,305,600	16,000,000
資産合計	43,100,986	27,893,725	15,207,261
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,790,029	2,601,726	188,303
賞与引当金	691,333	689,333	2,000
流動負債合計	3,481,362	3,291,059	190,303
2. 固定負債			
退職給付引当金	14,192,000	13,260,000	932,000
固定負債合計	14,192,000	13,260,000	932,000
負債合計	17,673,362	16,551,059	1,122,303
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	20,000,000	0	20,000,000
指定正味財産合計	20,000,000	0	20,000,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(20,000,000)	(0)	(20,000,000)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	5,427,624	11,342,666	△ 5,915,042
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(13,000,000)	(17,000,000)	(△ 4,000,000)
正味財産合計	25,427,624	11,342,666	14,084,958
負債及び正味財産合計	43,100,986	27,893,725	15,207,261

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用益	8,617	1,249	7,368
特定資産受取利息	8,617	1,249	7,368
会費収入	27,733,000	28,971,500	△ 1,238,500
一般会員会費収入	4,138,000	4,145,000	△ 7,000
特別会員会費収入	23,595,000	24,826,500	△ 1,231,500
受託事業収入	1,245,270	1,248,130	△ 2,860
子どもの読書推進会議受託事業収入	700,000	700,000	0
伊藤忠記念財団受託事業収入	545,270	548,130	△ 2,860
受取寄付金	1,866,500	1,000,000	866,500
受取寄付金	1,866,500	1,000,000	866,500
雑収益	1,193,109	1,168,271	24,838
受取利息	198	82	116
雑収益	1,192,911	1,168,189	24,722
経常収益計	32,046,496	32,389,150	△ 342,654
(2)経常費用			
事業費	34,484,749	34,901,372	△ 416,623
給料手当	9,534,960	9,504,360	30,600
法定福利費	1,863,663	1,850,970	12,693
賞与	1,176,967	1,173,567	3,400
賞与引当金繰入	587,633	585,933	1,700
退職給付費用	792,200	787,100	5,100
福利厚生費	50,601	24,337	26,264
事務所費	4,933,206	4,947,100	△ 13,894
印刷費	5,787,931	5,600,442	187,489
通信運搬費	3,105,219	3,062,868	42,351
旅費交通費	214,382	388,687	△ 174,305
会議費	139,645	56,200	83,445
広告宣伝費	877,250	814,000	63,250
褒賞費	2,027,833	2,296,062	△ 268,229
支払補助金	1,480,000	1,850,000	△ 370,000
贈呈図書費	68,000	60,000	8,000
支払原稿料	615,019	615,019	0
諸謝金	80,000	80,000	0
支払手数料	26,975	28,581	△ 1,606
消耗品費	170,316	175,969	△ 5,653
リース料	254,760	254,760	0
サーバー使用料	232,141	232,056	85
新聞購読料	128,896	128,896	0
書籍購入費	7,590	12,804	△ 5,214
講演・研修会参加費	10,600	13,000	△ 2,400
雑費	318,962	358,661	△ 39,699

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	3,476,789	3,479,069	△ 2,280
給料手当	1,682,640	1,677,240	5,400
法定福利費	328,882	326,642	2,240
賞与	207,700	207,100	600
賞与引当金繰入	103,700	103,400	300
退職給付費用	139,800	138,900	900
福利厚生費	8,929	4,295	4,634
支払手数料	965	1,823	△ 858
事務所費	870,566	873,019	△ 2,453
会議費	132,307	145,850	△ 13,543
租税公課	1,300	800	500
経常費用計	37,961,538	38,380,441	△ 418,903
当期経常増減額	△ 5,915,042	△ 5,991,291	76,249
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,915,042	△ 5,991,291	76,249
一般正味財産期首残高	11,342,666	17,333,957	△ 5,991,291
一般正味財産期末残高	5,427,624	11,342,666	△ 5,915,042
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	20,000,000	0	20,000,000
当期指定正味財産増減額	20,000,000	0	20,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	20,000,000	0	20,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	25,427,624	11,342,666	14,084,958

正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から 2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1 事業	小 計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
特定資産運用益	6,898	6,898	1,719		8,617
特定資産受取利息	6,898	6,898	1,719		8,617
会費収入	23,573,050	23,573,050	4,159,950		27,733,000
一般会員会費収入	3,517,300	3,517,300	620,700		4,138,000
特別会員会費収入	20,055,750	20,055,750	3,539,250		23,595,000
受託事業収入	1,245,270	1,245,270	0		1,245,270
子どもの読書推進会議受託事業収入	700,000	700,000	0		700,000
伊藤忠記念財団受託事業収入	545,270	545,270	0		545,270
受取寄付金	1,866,500	1,866,500	0		1,866,500
受取寄付金	1,866,500	1,866,500	0		1,866,500
雑収益	1,193,069	1,193,069	40		1,193,109
受取利息	158	158	40		198
雑収益	1,192,911	1,192,911	0		1,192,911
経常収益計	27,884,787	27,884,787	4,161,709		32,046,496
(2)経常費用					
事業費	34,484,749	34,484,749			34,484,749
給料手当	9,534,960	9,534,960			9,534,960
法定福利費	1,863,663	1,863,663			1,863,663
賞与	1,176,967	1,176,967			1,176,967
賞与引当金繰入	587,633	587,633			587,633
退職給付費用	792,200	792,200			792,200
福利厚生費	50,601	50,601			50,601
事務所費	4,933,206	4,933,206			4,933,206
印刷費	5,787,931	5,787,931			5,787,931
通信運搬費	3,105,219	3,105,219			3,105,219
旅費交通費	214,382	214,382			214,382
会議費	139,645	139,645			139,645
広告宣伝費	877,250	877,250			877,250
褒賞費	2,027,833	2,027,833			2,027,833
支払補助金	1,480,000	1,480,000			1,480,000
贈呈図書費	68,000	68,000			68,000
支払原稿料	615,019	615,019			615,019
諸謝金	80,000	80,000			80,000
支払手数料	26,975	26,975			26,975
消耗品費	170,316	170,316			170,316
リース料	254,760	254,760			254,760
サーバー使用料	232,141	232,141			232,141
新聞購読料	128,896	128,896			128,896
書籍購入費	7,590	7,590			7,590
講演・研修会参加費	10,600	10,600			10,600
雑費	318,962	318,962			318,962

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1 事業	小 計			
管理費			3,476,789		3,476,789
給料手当			1,682,640		1,682,640
法定福利費			328,882		328,882
賞与			207,700		207,700
賞与引当金繰入			103,700		103,700
退職給付費用			139,800		139,800
福利厚生費			8,929		8,929
支払手数料			965		965
事務所費			870,566		870,566
会議費			132,307		132,307
租税公課			1,300		1,300
経常費用計	34,484,749	34,484,749	3,476,789		37,961,538
当期経常増減額	△ 6,599,962	△ 6,599,962	684,920		△ 5,915,042
2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 6,599,962	△ 6,599,962	684,920		△ 5,915,042
一般正味財産期首残高					11,342,666
一般正味財産期末残高					5,427,624
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	20,000,000	20,000,000	0		20,000,000
当期指定正味財産増減額	20,000,000	20,000,000	0		20,000,000
指定正味財産期首残高					0
指定正味財産期末残高					20,000,000
III 正味財産期末残高					25,427,624

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 「公益法人会計基準」を採用している。

(2) 引当金の計上基準

ア 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

イ 賞与引当金 前期の支給実績に基づき、当期の負担相当額を計上している。

3 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
野間読書推進賞基金	15,000,000	20,000,000	5,000,000	30,000,000
グループ総覧発行積立金	2,000,000	1,000,000	0	3,000,000
合 計	17,000,000	21,000,000	5,000,000	33,000,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
野間読書推進賞基金	30,000,000	(20,000,000)	(10,000,000)	—
グループ総覧発行積立金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	—
合 計	33,000,000	(20,000,000)	(13,000,000)	0

4. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 14,192,000
----------	--------------

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	△ 932,000
--------	-----------

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、期末退職金要支給額を基礎として計算している。

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表の注記「2. 特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	689,333	691,333	689,333	0	691,333
退職給付引当金	13,260,000	932,000	0	0	14,192,000

財 産 目 録

2023年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		物量・場所等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	現金（手元保管） 普通預金 文化産業信用組合 本店 三井住友銀行 飯田橋支店 みずほ銀行 神田支店 三菱UFJ銀行 神楽坂支店 きらぼし銀行 神田中央支店 郵便振替口座 ゆうちょ銀行	運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として	90,388 1,717,111 1,057,291 1,161,353 1,138,854 359,524 959,748 809,796
	未収金	公益財団法人伊藤忠記念財団	送料	32,552
	前払金	一般財団法人日本出版クラブ その他	賃料・共益費 4月分 購読料・著作権使用料他	301,169 37,600
	貯蔵品		図書カード	130,000
流動資産合計				7,795,386
(固定資産)				
特定資産	野間読書推進賞基金	定期預金 きらぼし銀行 神田中央支店 文化産業信用組合 本店 三菱UFJ銀行 神楽坂支店	 80%は公益目的保有財産として公益目的事業の財源とし、 20%は管理運営の財源としている。 野間読書推進賞の財源として積み立てている。 野間読書推進賞の財源として積み立てている。	 10,000,000 10,000,000 10,000,000
	グループ総覧発行積立金	定期預金 三井住友銀行 飯田橋支店	グループ総覧発行のために積み立てている。 (特定費用準備資金)	3,000,000
その他固定資産	敷金	事務所入居保証金	共用財産であり、うち80%は公益目的保有財産として公益 目的事業の用に供し、20%は管理運営の用に供している。	2,305,600
固定資産合計				35,305,600
資産合計				43,100,986
(流動負債)				
	未払金		ポスター代金、発送費、イラスト料ほか	2,790,029
	賞与引当金	職員に対するもの	職員に対する賞与の支払いに備えたもの	691,333
流動負債合計				3,481,362
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	14,192,000
固定負債合計				14,192,000
負債合計				17,673,362
正味財産				25,427,624

監 査 報 告 書

公益社団法人 読書推進運動協議会

会 長 野 間 省 伸 殿

2023 年 4 月 13 日

監 事 佐 藤 潤 一



監 事 竹 村 和 子



監 事 春 井 宏 之



私たち監事は、公益社団法人読書推進運動協議会の2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の監査を実施いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会等の会議に出席、又は、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

2022年度 予算決算対比

(単位：円)

科 目	2022年度予算				2022年度決算			
	公益目的事業会計		法人会計	合計	公益目的事業会計		法人会計	合計
	公1	合計			公1	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
特定資産運用益	1,000	1,000	300	1,300	6,898	6,898	1,719	8,617
特定資産受取利息	1,000	1,000	300	1,300	6,898	6,898	1,719	8,617
会費収入	23,731,150	23,731,150	4,187,850	27,919,000	23,573,050	23,573,050	4,159,950	27,733,000
正会員（一般会員）受取会費	3,479,900	3,479,900	614,100	4,094,000	3,517,300	3,517,300	620,700	4,138,000
正会員（特別会員）受取会費	20,251,250	20,251,250	3,573,750	23,825,000	20,055,750	20,055,750	3,539,250	23,595,000
受託事業収入	1,275,000	1,275,000	0	1,275,000	1,245,270	1,245,270	0	1,245,270
子どもの読書推進会議受託事業収入	700,000	700,000	0	700,000	700,000	700,000	0	700,000
伊藤忠記念財団受託事業収入	575,000	575,000	0	575,000	545,270	545,270	0	545,270
受取寄付金	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	1,866,500	1,866,500	0	1,866,500
受取寄付金	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	1,866,500	1,866,500	0	1,866,500
雑収益	1,100,100	1,100,100	50	1,100,150	1,193,069	1,193,069	40	1,193,109
受取利息	100	100	50	150	158	158	40	198
雑収益	1,100,000	1,100,000	0	1,100,000	1,192,911	1,192,911	0	1,192,911
経常収益計	27,107,250	27,107,250	4,188,200	31,295,450	27,884,787	27,884,787	4,161,709	32,046,496
(2) 経常費用								
事業費	36,665,856	36,665,856		36,665,856	34,484,749	34,484,749		34,484,749
給料手当	9,510,000	9,510,000		9,510,000	9,534,960	9,534,960		9,534,960
法定福利費	1,770,000	1,770,000		1,770,000	1,863,663	1,863,663		1,863,663
賞与	1,762,000	1,762,000		1,762,000	1,176,967	1,176,967		1,176,967
賞与引当金繰入	391,756	391,756		391,756	587,633	587,633		587,633
退職給付費用	787,100	787,100		787,100	792,200	792,200		792,200
福利厚生費	0	0		0	50,601	50,601		50,601
事務所費	4,800,000	4,800,000		4,800,000	4,933,206	4,933,206		4,933,206
印刷費	5,600,000	5,600,000		5,600,000	5,787,931	5,787,931		5,787,931
通信運搬費	3,500,000	3,500,000		3,500,000	3,105,219	3,105,219		3,105,219
旅費交通費	400,000	400,000		400,000	214,382	214,382		214,382
会議費	300,000	300,000		300,000	139,645	139,645		139,645
広告宣伝費	820,000	820,000		820,000	877,250	877,250		877,250
褒賞費	3,300,000	3,300,000		3,300,000	2,027,833	2,027,833		2,027,833
支払補助金	1,480,000	1,480,000		1,480,000	1,480,000	1,480,000		1,480,000
贈呈図書費	100,000	100,000		100,000	68,000	68,000		68,000
支払原稿料	700,000	700,000		700,000	615,019	615,019		615,019
諸謝金	100,000	100,000		100,000	80,000	80,000		80,000
支払手数料	25,000	25,000		25,000	26,975	26,975		26,975
消耗品費	250,000	250,000		250,000	170,316	170,316		170,316
リース料	260,000	260,000		260,000	254,760	254,760		254,760
サーバー使用料	350,000	350,000		350,000	232,141	232,141		232,141
新聞購読料	130,000	130,000		130,000	128,896	128,896		128,896
書籍購入費	10,000	10,000		10,000	7,590	7,590		7,590
講演・研修会参加費	20,000	20,000		20,000	10,600	10,600		10,600
雑費	300,000	300,000		300,000	318,962	318,962		318,962
管理費			4,204,133	4,204,133			3,476,789	3,476,789
給料手当			1,700,000	1,700,000			1,682,640	1,682,640
法定福利費			315,000	315,000			328,882	328,882
賞与			311,100	311,100			207,700	207,700
賞与引当金繰入			69,133	69,133			103,700	103,700
退職給付費用			138,900	138,900			139,800	139,800
福利厚生費			200,000	200,000			8,929	8,929
支払手数料			850,000	850,000			965	965
事務所費			20,000	20,000			870,566	870,566
会議費			200,000	200,000			132,307	132,307
租税公課			0	0			1,300	1,300
関連法人会費			250,000	250,000			0	0
雑費			150,000	150,000			0	0
経常費用計	36,665,856	36,665,856	4,204,133	40,869,989	34,484,749	34,484,749	3,476,789	37,961,538
当期経常増減額	△ 9,558,606	△ 9,558,606	△ 15,933	△ 9,574,539	△ 6,599,962	△ 6,599,962	684,920	△ 5,915,042
当期一般正味財産増減額	△ 9,558,606	△ 9,558,606	△ 15,933	△ 9,574,539	△ 6,599,962	△ 6,599,962	684,920	△ 5,915,042
II 指定正味財産増減の部								
受取寄付金					20,000,000	20,000,000		20,000,000
当期指定正味財産増減額					20,000,000	20,000,000		20,000,000

2023年度 事業計画書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

読書推進運動協議会は、おかげさまで本年度で創立 64 年を数えます。歴史の蓄積の上に立ちながら、読書の未来を見据えてこれからも活動を継続してまいります。

近年のコロナ禍によって、読書推進運動も大きな制約を受けてまいりましたが、一方で公共図書館でのデジタルサービス導入、学校教育の IT 化、読書推進運動における SNS の活用などが促進された面もあります。また 2022 年度は公的な行動制限もなくなったため、読書会、読み聞かせ会、ワークショップなどの対面での行事や活動も行えるようになりました。コロナ禍が完全に終息したわけではありませんが、人と人とが直接交流して行うという読書推進運動の基本が回復されたことは大きな希望です。

「こどもの読書週間」「読書週間」の標語は、会員社のみなさま、全国の図書館、そしてホームページで一般の方々にも呼びかけて募集しています。とくに販売会社や出版社には事業委員として深く関わっていただき、それぞれの社員の方々からたくさんの応募をいただいています。2023 年春の「こどもの読書週間」の標語は「ひらいてとじた 笑顔がふえた」に、秋の「読書週間」の標語は「私のペースで しおりは進む」に決定しました。こうした作業を進めるなかで、事業の認知度をより高めていくようにいたします。ここ数年は、図書館だけでなく、市町村の広報担当者からポスター画像の掲載について、問い合わせが増えてきました。

「読書週間」は、ポスターのイラストも一般から公募しており、2016 年からは標語にあわせたイラストを公募し、標語と親和性の高い力作が多く寄せられています。また「こどもの読書週間」のポスターにつきましては、2023 年より子どもたちに人気のある新進の絵本作家ユニット、ザ・キャビンカンパニーさんを起用し、標語にあわせた描き下ろしイラストで制作いたします。

私ども読進協の事業の基盤は、永年にわたって構築してまいりました、読書推進活動に携わる現場のみなさまとの強固な絆です。読書週間事業の一環として行われている、全国の読書推進運動協議会の推薦をもとに選ばれる「全国優良読書グループ表彰」と、永年にわたって読書の普及に貢献された団体と個人を表彰する「野間読書推進賞」の顕彰事業は、関係団体や各道府県の読書推進運動協議会との緊密な協力関係のもとに推進しています。

全国の読書推進運動協議会から寄せられた推薦図書をもとに作成する、約 21 万部の「若い人に贈る読書のすすめ」と、約 14 万部の「敬老の日読書のすすめ」のリーフレットは、今年度も関係の団体を通じてお配りしていきます。学校や図書館からの問い合わせが多いのは、積極的に活用されている表れと思います。

2023 年は、5 年に一度おこなっている「全国読書グループ調査」の実施年にあたります。2024 年に、調査をまとめた『2023 年度 全国読書グループ総覧』の刊行を予定しています。本総覧は全国の読書グループの実態を記録した、類例のない資料としての評価を頂戴し、公共図書館および類縁機関、会員公共図書館および類縁機関、会員社社、関係者、関係者、司書課程を有する大

学、司書課程を有する大学などに配布して、ご活用いただいております。

機関紙『読書推進運動』は、これまでと同様に事業の紹介、関係団体・機関のニュースを中心に紙面づくりを心掛けます。「優良読書グループのあゆみ」やこれまでの野間読書推進賞受賞者の活動など、読書推進運動の現場を積極的に紹介してまいります。

ホームページでの「読書週間」「こどもの読書週間」のしおり、ポップなどの素材データの配信も好評をいただいております。さらに魅力ある素材の提供に取り組んでいきます。

なお、年々ポスター、リーフレットの需要が高まる一方、昨今の物価高騰により、印刷費や郵送料など事業に要する経費も上昇してきております。読書推進事業の継続性を維持するために、デリバリー方法の見直しなども含め、経費の効率的な運用を心掛けてまいります。

現在 40 道府県にそれぞれの読書推進運動協議会があり、読書推進運動協議会のさまざまな事業を行っていくにあたり、連携を強め、多大な協力をいただいています。しかし、読書推進運動協議会のない都府県が、7つあります。こうした都府県にあらためて働きかけ、事業の活性化をはかっていきます。

2023年度 事業計画

名 称	期 間	内 容
2023 第77回 読 書 週 間	10月27日 ～ 11月9日 (14日間)	<u>キャンペーン事業</u> ・読書推進運動協議会がすすめる14日間にわたる読書普及のための最大のイベント ・標語とイラストを募集、標語選定事業委員会とイラスト選定事業委員会にて決定し、ポスター6万5000枚を製作 ・雑誌広告を作成。雑誌協会を通じ、雑誌出版社に掲載協力を要請 ・道府県読進協、公共図書館、小・中・高の学校図書館、書店、会員社、マスコミなどへポスターを送付。掲出を要請 ・「文字・活字文化の日(10月27日)」と連携 ・全国優良読書グループ表彰の実施 ・道府県読進協へ行事補助金贈呈。行事報告を要請し、機関紙別冊に掲載
2023 第65回 こどもの読書週間	4月23日 ～ 5月12日 (20日間)	<u>キャンペーン事業</u> ・「春の読書週間」としての位置づけ、20日間を強調 ・標語を募集、標語選定事業委員会にて決定し、ポスター6万枚を製作 ・道府県読進協、公共図書館、小・中・高の学校図書館、書店、会員社、マスコミなどへポスターを送付。掲出を要請 ・「子ども読書の日(4月23日)」 「上野の森 親子ブックフェスタ」と連携 ・道府県読進協へ行事補助金贈呈。行事報告を要請し、機関紙別冊に掲載
第53回 野間読書推進賞	贈呈式は 11月2日	<u>顕彰事業</u> ・読書推進運動に功績があった団体および個人を顕彰(2団体2個人が基本) ・贈呈式は「読書週間」期間中に開催

2023 敬老の日 読書のすすめ	敬老の日 を中心に	・高年齢者を対象とした選定図書目録のリーフレット14万3000部を製作 ・道府県読進協、公共図書館、書店、会員社などへ送付
2024 若い人に贈る 読書のすすめ	1月～3月	・新成人、高校・大学の卒業生を対象とした選定図書リーフレットを21万部を製作 ・道府県読進協、公共図書館、高校や大学の学校図書館、書店、会員社などへ送付
全国読書グループ 調査	調査期間 9月～11月	・5年に一度、全国の公共図書館および類縁機関を対象に行う読書グループの活動状況の調査 ・全国公共図書館協議会の協力のもと、都道府県立図書館・道府県読書推進運動協議会を通じて調査票を配布 ・回答を集計し、その結果を『2023年度 全国読書グループ総覧』として 2024年に刊行。全国の公共図書館および類縁機関、会員、関係者などに配布する。
機関紙 『読書推進運動』	毎月	・機関紙『読書推進運動』を毎月発行するほか、別冊付録を年2回発行 ・発行部数 約5500部 ・会員社、公共図書館、関係団体などに送付
公式ホームページ	毎月2回 更新	・団体事業の発信 ・機関紙バックナンバーの掲載 ・図書館、学校、書店の展示用に、各種事業のポップ・しおりなど、新規素材のデータ配信を行う
受託、共催、後援、協賛		・「子どもの読書推進会議」の事務局を担当 ・「伊藤忠記念財団」の子ども文庫助成事業の受託 ・文部科学省より「子ども読書の日」のポスター制作を受託 ・関連団体と読書推進事業を後援、協賛、協力

2023年度 収支予算書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

(単位：円)

科 目	2022年度予算			2023年度予算案		
	公益目的事業会計	法人会計	合計	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
特定資産運用益	1,000	300	1,300	1,000	300	1,300
特定資産受取利息	1,000	300	1,300	1,000	300	1,300
会費収入	23,731,150	4,187,850	27,919,000	23,552,650	4,156,350	27,709,000
正会員（一般会員）受取会費	3,479,900	614,100	4,094,000	3,496,900	617,100	4,114,000
正会員（特別会員）受取会費	20,251,250	3,573,750	23,825,000	20,055,750	3,539,250	23,595,000
受託事業収入	1,275,000	0	1,275,000	1,275,000	0	1,275,000
子どもの読書推進会議受託事業収入	700,000	0	700,000	700,000	0	700,000
伊藤忠財団文庫助成収入	575,000	0	575,000	575,000	0	575,000
受取寄附金	1,000,000	0	1,000,000	21,500,000	0	21,500,000
読書週間協力費	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000
会員社	0	0	0	20,500,000	0	20,500,000
雑収益	1,100,100	50	1,100,150	1,140,150	50	1,140,200
受取利息	100	50	150	150	50	200
雑収益	1,100,000	0	1,100,000	1,140,000	0	1,140,000
経常収益計	27,107,250	4,188,200	31,295,450	47,468,800	4,156,700	51,625,500
(2) 経常費用						
事業費	36,665,856		36,665,856	37,718,833		37,718,833
給料手当	9,510,000		9,510,000	9,560,000		9,560,000
法定福利費	1,770,000		1,770,000	1,876,000		1,876,000
賞与	1,762,000		1,762,000	1,768,000		1,768,000
賞与引当金繰入	391,756		391,756	587,633		587,633
退職給付費用	787,100		787,100	792,200		792,200
事務所費	4,800,000		4,800,000	4,800,000		4,800,000
印刷費	5,600,000		5,600,000	6,600,000		6,600,000
通信運搬費	3,500,000		3,500,000	3,250,000		3,250,000
旅費交通費	400,000		400,000	300,000		300,000
会議費	300,000		300,000	500,000		500,000
広告宣伝費	820,000		820,000	450,000		450,000
褒賞費	3,300,000		3,300,000	3,300,000		3,300,000
支払補助金	1,480,000		1,480,000	1,480,000		1,480,000
贈呈図書費	100,000		100,000	100,000		100,000
支払原稿料	700,000		700,000	980,000		980,000
諸謝金	100,000		100,000	120,000		120,000
支払手数料	25,000		25,000	25,000		25,000
消耗品費	250,000		250,000	220,000		220,000
リース料	260,000		260,000	260,000		260,000
サーバー使用料	350,000		350,000	250,000		250,000
新聞購読料	130,000		130,000	130,000		130,000
書籍購入費	10,000		10,000	20,000		20,000
講演・研修会参加費	20,000		20,000	20,000		20,000
雑費	300,000		300,000	330,000		330,000
管理費		4,204,133	4,204,133		4,246,500	4,246,500
給料手当		1,700,000	1,700,000		1,700,000	1,700,000
法定福利費		315,000	315,000		331,000	331,000
賞与		311,100	311,100		312,000	312,000
賞与引当金繰入		69,133	69,133		103,700	103,700
退職給付費用		138,900	138,900		139,800	139,800
福利厚生費		200,000	200,000		200,000	200,000
事務所費		850,000	850,000		850,000	850,000
支払手数料		20,000	20,000		10,000	10,000
会議費		200,000	200,000		200,000	200,000
関連法人会費		250,000	250,000		250,000	250,000
雑費		150,000	150,000		150,000	150,000
経常費用計	36,665,856	4,204,133	40,869,989	37,718,833	4,246,500	41,965,333
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,558,606	△ 15,933	△ 9,574,539	9,749,967	△ 89,800	9,660,167
当期経常増減額	△ 9,558,606	△ 15,933	△ 9,574,539	9,749,967	△ 89,800	9,660,167
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 9,558,606	△ 15,933	△ 9,574,539	9,749,967	△ 89,800	9,660,167

公益社団法人 読書推進運動協議会 会員名簿

2023年6月1日現在 (275)

◆特別会員 (100)

一般社団法人 日本書籍出版協会
同 日本雑誌協会
同 教科書協会
同 日本出版取次協会
公益社団法人 日本図書館協会
同 全国学校図書館協議会
日本書店商業組合連合会

一般財団法人 日本出版クラブ
一般社団法人 家の光協会
王子製紙 株式会社
学校法人 文化学園文化出版局
株式会社 秋田書店
同 朝倉書店
同 朝日広告社
同 朝日新聞社
同 岩崎書店
同 岩波書店
同 潮出版社
同 ADKマーケティング・ソリューションズ
同 N H K 出版
同 オーム社
同 オリコム
同 学研ホールディングス
同 K A D O K A W A
同 河出書房新社
同 きらばし銀行神田中央支店
同 暮らしの手帖社
同 KPS ホールディングス
同 広済堂ネクスト
同 佼成出版社
同 講談社
同 交通新聞社
同 光文社
同 小峰書店
同 ゴルフダイジェスト社
同 産業経済新聞社
同 JTBパブリッシング
同 集英社
同 主婦と生活社
同 主婦の友社
同 小学館
同 祥伝社
同 少年画報社
同 新潮社
同 青春出版社
同 誠文堂新光社
同 世界文化ホールディングス
同 大修館書店

株式会社 ダイアモンド社
同 中央経済社ホールディングス
同 中央公論新社
同 中央社
同 中日新聞社
同 電通
同 トーハン
同 東京ニュース通信社
同 東洋経済新報社
同 徳間書店
同 西日本新聞社
同 日教販
同 日経B P
同 日本実業出版社
同 博報堂
同 P H P 研究所
同 福音館書店
同 双葉社
同 文英堂
同 文藝春秋
同 ベースボール・マガジン社
同 ベネッセホールディングス
同 芳文社
同 ポプラ社
同 ほるぷ出版
同 毎日新聞社
同 マガジンハウス
同 有斐閣
同 読売新聞社
同 理論社
共同印刷 株式会社
共立出版 株式会社
協和出版販売 株式会社
国際紙パルプ商事 株式会社
新生紙パルプ商事 株式会社
全日本製本工業組合連合会
大王製紙 株式会社
大日本印刷 株式会社
図書印刷 株式会社
凸版印刷 株式会社
日本紙パルプ商事 株式会社
日本出版販売 株式会社
日本製紙 株式会社
日本図書普及 株式会社
ぴあ 株式会社
ひかりのくに 株式会社
文化産業信用組合
北越コーポレーション 株式会社
三菱王子製紙販売 株式会社
楽天ブックスネットワーク株式会社

有限会社 明日香出版社
悠々会

◆一般会員 (175)

愛知県書店商業組合
青森県書店商業組合
医歯薬出版 株式会社
一般社団法人 農山漁村文化協会
茨城県書店商業組合
大口製本印刷 株式会社
大村製本 株式会社
岡山県書店商業組合
沖縄県書店商業組合
海文堂出版 株式会社
香川県書店商業組合
学事出版 株式会社
学校図書 株式会社
株式会社 あかね書房
同 あすなろ書房
同 医学書院
同 池田書店
同 栄行社
同 大月書店
同 オレンジページ
同 音楽之友社
同 化学同人
同 学陽書房
同 風間書房
同 かんき出版
同 北大路書房
同 京都新聞社
同 銀行研修社
同 金星堂
同 近代セールス社
同 金の星社
同 金羊社
同 くもん出版
同 経済界
同 勁草書房
同 研究社
同 恒星社厚生閣
同 講談社エディトリアル
同 講談社ビーシー
同 弘文社
同 弘文堂
同 国土社
同 国宝社
同 こぐま社
同 コロナ社
同 財界研究所

株式会社	さ・え・ら書房	同	白水社	永井製本 株式会社
同	三修社	同	博文館新社	中庄 株式会社
同	三省堂	同	博友社	日本紙通商 株式会社
同	サンマーク出版	同	原書房	日本事務器 株式会社
同	実務教育出版	同	評論社	B L 出版 株式会社
同	清水書院	同	フォーネット社	美術書出版株式会社 芸艸堂
同	春陽堂書店	同	婦人之友社	兵庫県書店商業組合
同	裳華房	同	扶桑社	福島県書店商業組合
同	彰国社	同	フレーベル館	二葉製本 株式会社
同	晶文社	同	プレジデント社	北越紙販売 株式会社
同	昭文社	同	文溪堂	北海道書店商業組合
同	照林社	同	文真堂	牧製本印刷 株式会社
同	新興出版社啓林館	同	文理	光村教育図書 株式会社
同	新星出版社	同	平凡社	光村図書出版 株式会社
同	新日本出版社	同	報知新聞社	宮城県書店商業組合
同	人文書院	同	法律文化社	有限会社 至光社
同	星雲社	同	みずず書房	同 富山房
同	成文堂	同	三井住友銀行神田支店	同 ベレ出版
同	世界思想社教学社	同	緑書房	同 丸善マツチ
同	そうえん社	同	ミネルヴァ書房	(以上)
同	創元社	同	モーターマガジン社	
同	増進堂・受験研究社	同	山川出版社	
同	第一学習社	同	養賢堂	
同	第一通信社	同	養徳社	
同	第三文明社	同	吉川弘文館	
同	大進堂	同	リイド社	
同	高橋書店 (出版)	同	ロングセラーズ	
同	竹尾	同	若林製本工場	
同	淡交社	岐阜県書店商業組合		
同	筑摩書房	教育出版 株式会社		
同	地人書館	京都府書店商業組合		
同	チャイルド本社	京橋紙業 株式会社		
同	中国新聞社東京支社	熊本県書店商業組合		
同	汐文社	黒柳製本 株式会社		
同	電気書院	慶應義塾大学出版会 株式会社		
同	東京創元社	産業図書 株式会社		
同	東京即売	滋賀県書店商業組合		
同	とうこう・あい	静岡県書店商業組合		
同	童心社	実教出版 株式会社		
同	東洋館出版社	昇龍堂出版 株式会社		
同	読書人	書店新風会		
同	永井書店	数研出版 株式会社		
同	永岡書店	鈴木出版 株式会社		
同	ナツメ社	聖パウロ女子修道会		
同	南江堂	成美堂出版 株式会社		
同	南山堂	第一出版 株式会社		
同	新潟日報社	大日本図書 株式会社		
同	二玄社	辰巳出版 株式会社		
同	西村書店 (出版)	玉川大学 出版部		
同	西村書店 (取次)	中央精版印刷 株式会社		
同	二宮書店	東京書籍 株式会社		
同	日本経済新聞社	東京都書店商業組合		
同	日本スポーツ企画出版社	同文館出版 株式会社		
同	日本能率協会マネジメントセンター	徳島県書店商業組合		
株式会社	日本文芸社	鳥取県書店商業組合		

